

# あかひら

No.344



2017.7

岩手県勤労者山岳連盟



盛岡山友会



# あかげら

# 7月号

も く じ

- 
- 01 縦走路「高松公園・北山地帯の魅力」 三澤 信裕  
02 今後の日程（事務局）
- 
- 03 今後の山行計画
- 
- 07 運営委員会報告  
08 事務局から  
09 県連報告  
10 専門部報告  
●山行管理委員会 ●山行企画部 ●教育遭対部  
12 行ってきました！
- 
- ▲ 山行報告
- 14 「三ツ石山」から再出発 櫻庭由季子  
16 会山行「県境の風」秋田県県南の古道に行く 小原 耕  
17 岩手山 御神坂コース 小川 優子  
19 清掃登山 岩手山 柳沢コース 渡部 彩子
- 
- 21 ツェルト・ビバーク訓練に参加して 松田 希  
22 ある日ある時 “<結果から探ろう>” 淡 望天  
24 交流の広場

## 縦走路

# 高松公園・北山地帯の魅力

No. 4 5 9 三澤 信裕

高松公園・これに隣接し遊歩道を有する北山地帯は私の自宅から徒歩5分程の近くにありトレーニングを兼ねて散策する事に魅力ある最適なコース。高松公園は周囲約2kmあるひょうたん型の高松の池と周辺を言う。この池は江戸時代、水田用の沼を大きくため池に改造されたもので現在は貸ボートもある市民の憩いの場。北山には聖寿禅寺があり南部藩主、家老職の墓がある所で戊辰の役、日露戦争に絡み運命に散った藩士の石碑もあり過酷な歴史を感じさせる。また、146段の石段がトレーニングに最適。隣接して池とツツジ、紅葉が綺麗な盛岡開運神社がある。私が腕白な子供時代、この地帯で夏は竹鉄砲、木刀、パチンコ等を作ったり、かつてあった土取り場の斜面をよじ登る等して良く遊んだ。冬は旧師範学校のスロープがあったので山道を含めてスキーも良く楽しんだ。午前中リュックを背負いこの地区にトレーニングを兼ね散策に出かけると2月末から4月にかけて盛岡山友会のマスコット「あかげら」が甲高く木を打ち始め春の訪れを告げる。程なく「雉」がこれも同じく甲高い鳴き声を上げ山に鳴り響く。気温が徐々に上がってくると「鶯」が軽やかに歌う様になり、例えようのない境地に浸る。高松公園は「水仙」「梅」「牡丹」「ツツジ」が咲き、「日本さくら名所百選」にも選定され見頃の時期は人盛りで賑わう。北山は白い「こぶしの花」が桜より早く咲き「落の臺」で早春を味わい「フキ」もあるので採取する。夏は緑豊かで快適な散策が楽しめオゾン吸収し気分爽快。「高松のバラ園」は甘い香りを放つ。北山の「蝸」「油蟬」が飽きさせない。秋は高松公園・北山地帯共に紅葉に染まり壮観。冬は高松の池にシベリヤから「鴨」「白鳥」が飛来し池の氷が解ける時まで過ごす。小鳥の渡り鳥も数多くバードウォッチング、写真愛好家が四季を通じてちらほら見かける。また早朝から常連の朝散の人達と行き会いトレーニンの高校、大学生が頑張っている。高松の池の畔から「岩手山」高台の東屋から「南昌山」北山の南部墓所からは「早池峰山」四季の景観が絶景。自宅近くでこの様な魅力ある自然を楽しむことを幸せと思い命ある限り散策を続けたい。機会があれば皆様もお出かけください。

# 今後の日程 (2017/8/1～2017/9/3)

行 事		行 事	
8/1	☆第5回常任理事会 (県連)	18	
火		金	
2	7/31～8/6 No.279 松田幸久	19	▲東山～桑原岳(2) (県境) ～6日
水		土	
3		20	▲男助山 (ゆうゆう) ▲鳥海山 (山行企画) ▲室根山 (個人)
木		日	
4		21	
金		月	
5	▲東山～桑原岳(1) (県境) ～6日	22	8/21～8/27 No.382 三浦明夫
土		火	
6	▲焼石岳 (山行企画) ▲南本内岳 (名山)	23	◎8月例会(勤労福祉会館) 18:45～
日		水	
7		24	
月		木	
8	8/7～8/13 No.002 渡邊健治	25	
火		金	
9	◎運営委員会(勤労福祉会館) 18:45～	26	
水		土	
10		27	
木		日	
11		28	
金		月	
12		29	8/28～9/3 No.416 福山茂和
13		30	
14		31	▲又一の滝 (スケッチ)
15	8/14～8/20 No.234 古川 孝	9/1	
16		2	
17		3	▲創立記念山行/岩手山、姫神山 (山行企画)
18		日	

◆「やま・ともサロン」は日程を決めず、会員の希望により随時開放します。ご希望の方はお電話ください。090-4318-5128 (No.19 中村美栄子)

◆山行管理専用アドレス: morioka\_yamakan@freeml.com

# 今後の山行計画

\* 掲載の山行企画は全会員を対象としています。

【山域/ルート】 焼石岳			企画	山行企画部
実施日	8月6日(日)	地形図	焼石岳・石淵ダム(1/25000)	
目的	焼石岳のお花畑を見に行く			
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(無雪期):★★	
コメント	ブナ林の小沼、湿原や草原のお花畑を見に行きましょう。			
締切り	7月29日(土)	打ち合わせ	7月31日(月)場所:おでって2F18:30~	
問合せ	高橋恵美子		連絡先::Tel 090-4046-3599	

【山域/ルート】 南本内岳1486m			企画	岩手の名山歩こうかい
実施日	8月6日(日)	地形図	焼石岳・石淵ダム(1/25000)	
目的	岩手の名山を歩く 夏のお花を見に行きましょう			
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	中沼から入り、姥石平の分岐から南本内岳に行きます。			
締切り	7月30日(日)	打ち合わせ	7月31日(月) おでって2F 18:30	
問合せ	熊谷久美子	連絡先::Tel 080-5228-6907		

【山域/ルート】 東山~桑原岳(1)			企画	県境の風
実施日	8月5日(土)~6日(日)	地形図	東山	
目的	秋田県との県境を歩く(県境区間 3km)			
難易度	歩行:★★	荷物:★★★	技術(無雪期):★★	
コメント	天江から登山道を行き、その先から藪に入ります。			
締切り	7月29日(土)	打ち合わせ	7月31日(月)場所:おでって2F18:30~	
問合せ	小田 春美 連絡先:Tel 090-4313-6145			

【山域/ルート】 東山～桑原岳(2)			企画	県境の風
実施日	8月19日(土)～20日(日)	地形図	東山	
目的	秋田県との県境を歩く			
難易度	歩行:★★	荷物:★★★	技術(無雪期):★★	
コメント	8月5～6日の続きを行います。			
締切り	8月12日(土)	打ち合わせ	メールにて連絡する。	
問合せ	高橋 陽子 連絡先:TEL 080-1842-3586			

【山域/ルート】 男助山 758.4m			企画	ゆうゆう
実施日	8月20日(日)	地形図	(1/25000) 鶯宿	
目的	紫波の山々を見る。			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	急登を登る。 ルートは話し合いで決める、			
締切り	8月12日(土)	打ち合わせ	8月15日(火)18:30おでって2F	
問合せ	連絡先:TEL 岡 義博 080-6542-8871			

【山域/ルート】 室根山 895.4m			企画	千田勝則
実施日	8月20日(日)	地形図	折壁(1/25000)	
目的	山野草写真撮影			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	気仙沼湾を望む県南の独立峰			
締切り	8月9日(水)	打ち合わせ	8月10日(木)18:30～場所:おでって2F	
問合せ	千田勝則 019-635-0201			

【山域/ルート】 鳥海山			企画	山行企画部
実施日	8月 20日(日 )	地形図	鳥海山(1/25000)	
目的	鳥海の百花繚乱を楽しみ、暑気を吹き飛ばそう			
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	祓川ヒュッテから頂上往復			
締切り	8月5日(土)	打ち合わせ	8月7日(月) おでって2F18:30	
問合せ	府金 志磨子 連絡先:TEL090-4637-2257 (SMS可)			

【山域/ルート】 又一の滝			企画	心のスケッチ山行クラブ
実施日	8月 31日(木)	地形図	早池峰山(1/25000)	
目的	心のスケッチ			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	馬止めから入り、マイナスイオンを浴び涼みに行きましょう。			
締切り	8月 24日(木)	打ち合わせ	8月 28日(月)18:30~場所:おでって 2F	
問合せ	工藤敬子 019-635-3203 (FAX 可)			

【山域/ルート】 岩手山 2038.2m (2017年)			企画	山行企画部
実施日	9月 3日(日)	地形図	(1/25000) 大更 姥屋敷	
目的	創立記念山行			
難易度	歩行:★★★	荷物:★★	技術(無雪期):★★	
コメント	岩手山、姫神山の山頂で、山友会の創立記念を祝いましょう			
締切り	8月 21日(月)	打ち合わせ	8月 23日(水)場所:例会専門部会後	
問合せ	高橋陽子 連絡先 ☎ 080-1842-3586			

【山域/ルート】 姫神山 1123.8m (2017年)			企画	山行企画部
実施日	9月3日(日)	地形図	(1/25000) 洪民	
目的	創立記念山行			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	岩手山、姫神山の山頂で、山友会の創立記念を祝いましょう			
締切り	8月21日(月)	打ち合わせ	8月23日(水)場所:例会専門部会後	
問合せ	高橋陽子 連絡先 ☎ 080-1842-3586			

【山域/ルート】 丹沢縦走			企画	県連
実施日	9月15日(金)～18日(月)	地形図	丹沢(1/25000)	
目的	県連合同県外山行			
難易度	歩行:★★★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	1日目 西丹沢～檜洞丸・蛭ヶ岳山荘泊 2日目 蛭ヶ岳～丹沢山・塔の岳・鍋割山～箱根温泉山荘泊 3日目 金時山 参加費 ¥48,000 定員 30人			
締切り	7月30日(日)	打ち合わせ	後日	
問合せ	連絡先 : 千田勝則 TEL019-635-0201 渡邊健治 090-9634-2257			

あかげら 8月号に掲載する山行計画は、書面、メールにて、山行企画部

**No.234 古川 孝 090-8923-3120(ショートメール可) [mountfuru2@yahoo.co.jp](mailto:mountfuru2@yahoo.co.jp)**

までお願いします。締め切りは8月6日(日)です。

なお、フォーマットは会員専用 HP 左下の様式ダウンロードを御利用ください。



# 2017年度 第4回運営委員会報告

(出席者数：18/23名)

2017. 7. 13(水)18:45～20:15 勤労福祉会館

渡邊 三浦(明) 中村(美) 石澤 小田(嘉) 高橋(恵) 中村(数) 松田(幸)  
小原 千田 古川 山田 福山 小川 渡部(彩) 岡(義) 大倉 大森

【進行：渡邊、 記録：中村(美)】

## 1 会長あいさつ

- ・清掃登山、強風のため岩手山の奥の宮まで行けず、9合目付近でゴミ拾いをした。
- ・東北ブロック、奥羽ブロックの交流登山を鳥海山で実施した。38名参加で岩手からは12名

## 2 報告事項・確認事項

### (1) 現在の組織状況(7月11日現在)

会員数99名(男53名/女46名)登山時報51部

退会者No,470 藤澤幸恵さん、 新入会者No, 475 亀田英一郎さん、No, 476 亀田金花さん(家族会員)

### (2) 各専門部等の取組状況

- ①山行管理委員会…ヒヤリ・ハット報告なし。岩手山山行をトレーニングとしてメールだけで行く人が増えてきた。  
岩手山は低山ではないから、きちんと計画書を出してほしい。
- ②教育遭対部…7/8～9 ツェルト・ビバーク訓練。13名参加
- ③組織部…登山教室の収支報告(別記参照)
- ④自然保護部…\* 7月2日(日)清掃登山＝岩手山24名、姫神山10名 8,5kg  
\* 7月15日(土)自然保護活動＝早池峰山  
\* 7月22(土)自然観察会＝鶏頭山 七折の滝
- ⑤山行企画部…8月11日の山の日の山行計画なし
- ⑥会報部…アンケートのたたき台を作成中。
- ⑦県連理事会…別記参照

## 3 協議事項

- ① 事務局から…8月以降のミニ講座について  
8月は、例会後の部会を先にやってから、9月の創立記念山行の打合せをする(今月から参加者を募る)。  
9月は、医療パックの中身を検討・更改して会員に報告する。
- ② 会員の手引きについて…目次を配布し、関係者に協力を要請する(今年中に発行する方向で進める)。
- ③ 7月例会後の懇親会について…登山用具の講師と一緒に懇親会をすることに。
- ④ 会の装備の貸し出しについて…会員が責任を持って取り扱うことでOK。
- ⑤ 山関係以外の署名依頼について…一応説明して、例会の受付場所付近に置いて個人の判断で。

## 例会における司会・会場片付担当表

担当月	担当部	担当月	担当部	担当月	担当部
4月／10月	教育遭対部	5月／11月	山行企画部	6月／12月	会報部
7月／1月	組織部	8月／2月	事務局	9月／3月	自然保護部

### ◆当面の予定

7月26日(水) 7月例会	8月9日(水) 運営委員会(第5回)
8月1日(火) 県連理事会	8月23日(水) 8月例会
	9月3日(日) 山友会創立記念山行

次回運営委員会 8月9日(水) 18:45～

## 事務局から

### ☆ 会員動7/15現在)

会員数99名 (男53、女46) 登山時報51部

退会者 No, 470 藤澤幸恵さん(6月一杯で退会)

入会者 No, 475 亀田英一郎さん NO, 476 亀田金花さん(家族会員)

### ☆ 例会の司会と後片づけ

担当月	担当部	担当月	担当部	担当月	担当部
4月／10月	教育遭対部	5月／11月	山行企画部	6月／12月	会報部
7月／1月	組織部	8月／2月	事務局	9月／3月	自然保護部

8月例会は 8月23日(水) 18:45～

# 2017年度 第4回県連理事会報告

2017.7.4 (火) 19:00～花巻市学園都市会館室

出席：渡邊健治、千田勝利、村上明枝 (文責)

## 1 会長挨拶

6月24日、全国連の拡大理事会が東京で開催された。その中の協議事項から①震災活動について2013年度までまとめてあるがそれ以降2017年度までのまとめをしたい。②個人会員制度の廃止に向けて現在居る個人会員120名についてどのように受け皿づくりをするか。③ハイキングスタンダードを作成してきているが完成させたい。④リニア新幹線の問題で深刻なものがある。⑤防災ヘリコプターの有料化について意見書を提出する(最低でも該当者に起因しない事故怪我のものまで有料にしないこと等の意見をつけた)。等が話し合われた。

## 2 報告事項

- (1) お花鑑賞山行 (6月14日 薬師岳)
  - ・34名参加 (釜石8、花巻5、生協4、アウトドア17)
- (2) 新特別基金全国担当者会議 (7月1・2日 東京)
  - ・津村理事参加 (28件30名の理事、全国連13名の参加)
- (3) 教育・遭対担当者会議 (6月17日 9:00～ 西部公民館)
  - ・13名の参加
  - ・各会のヒヤリハットと全国連でまとめた訓練・研修会等での事故事例研究
  - ・山行行程・時期等の体力的なことでの参加拒否の見極めについての意見交換
- (4) 東北ブロック沢救助搬出訓練(宮城県連主管 6月24日・25日)
  - ・全体で26名の参加。岩手7名。NP0法人ドローンサポート東北の参加あり。
  - ・岩手県連のスタンダードがあってもいいのでは。技術の伝承を進めることも必要
- (5) 奥羽ブロック協議会交流山行(6月24日・25日赤倉コースから酸ヶ湯への縦走)
  - ・岩手県連から5名の参加。青森県連から30名の参加で盛り上がった。
  - ・厳しいコースで山頂まで到達せず小屋で昼食。(予定より2時間オーバー)
- (6) 五葉山登山～石楠花山荘をめざそう～ 7月2日(日)
  - ・石楠花山荘の改築に向けた活動の一環として取り組む。釜石21名参加予定。

## 3 協議事項

- (1) 奥羽・東北ブロック交流登山 (7月8・9日 鳥海山)
  - ・交流会6名、山行12名の申込み(胆江、盛岡、生協)
- (2) 第12回県外合同遠征山 (9月15日(金)～18日(月) 丹沢山塊)
  - ・次の理事会で参加者集約。30名以上で実施。経費48,000円を8月に事前徴収
- (3) 山の日制定イベント(7月1日岩手山) 岩手県連としては特段設定しない
- (4) その他
  - ・9月9・10日: RAM主催のセルフレスキュー訓練を区界にて開催。
  - ・11月4・5日の全国救助技術交流集会(長野県川上村)にRAMから三人参加予定。
  - ・11月12日のスキルアップ講座は恵(伊)氏に交渉する。一般も参加対象とする。
  - ・核廃絶署名の各会協力依頼あり。

# 専門部報告

## ● 山行管理委員会

### ■ トレーニング山行の計画書・報告書について

山行管理ルールでは、日常的なトレーニングで近場の低山に登る場合に限り、計画書・報告書の提出を省略してよいとしています。ところが、低山や近場の判断で悩む方もいると思いますので、改めて考え方を以下に示します。

〈計画書が省略可能な山〉

- A) 低山とは、姫神山程度（標高 1200m 以下）の山であること。
- B) 近場とは、盛岡近郊で登山口まで 1 時間未満で行ける山あること。
- C) ルート整備が行われており、日常的に利用されているコースであること。

以上、これはあくまでトレーニング目的に限るもので、全ての条件がそろっていることが必要です。

なお、山行中に事故・ヒヤリハットがあった場合は報告書を省略することはできません。

## ● 山行企画部

◎ 今年の創立記念山行は以下のとおりです。

### **9月3日（日） 岩手山 姫神山**

山行打合せは8月23日（水）の例会時に行います。

早めに各コースに申込みしてください。

さあ、みんなで参加しましょう。

◎ あかぎら掲載の「今後の山行計画」をあかぎら発行前に会員専用HPの山行計画掲示板にアップしますので、早めに確認して自分のプランを建てる参考にしてください。

## ● 教育遭対部

### 岩登り講習会

- 日 時： 8月20日(日) 8:30~15:00  
場 所： 川目の岩場  
申し込み： 279 松田幸久 090-1374-2367 (SMS可)  
申し込みは氏名と会員番号をお願いします  
締め切り： 8月13日(日) 打ち合わせは無し  
集 合： 川目小学校を過ぎた右側の駐車場に8:00  
持ち物： 基本装備、いつもの登山靴、昼食、水  
持っている方は  
ヘルメット、ハーネス、クライミングギア

### 原稿のお願い

8月号の原稿締め切り

◎ 8月5日(土)

※手書き原稿の場合は、2日前までとします!

### 原・稿・の・基・準

■サイズ：B5

■本文枠：幅14cm・縦22cm以内 又は 余白：上・下・右・左20mm

■本文のフォント：10~12ポイント、明朝体、またはゴシック体で

※編集作業中に文字化けする可能性がありますので、フォントは守って下さい

送り先 ◎手書き原稿(郵送)

会員No.357 渡部 彩子

〒020-0632 滝沢市牧野林1047-66

Te1 090-7528-1968

◎メール原稿

会員No.301 久保 加世子

メールアドレス [k-kubo@mna.nifty.ne.jp](mailto:k-kubo@mna.nifty.ne.jp)

# 行ってきました!

6月19日～7月16日現在] その1

No.	月日	山域	ルート	目的	参加者名	会員	分類
1	6月20日	鞍掛山	相ノ沢コース	トレーニング	L高橋(英)	1	個人
2	6月20日	岩手山	柳沢コース	トレーニング	L大峠	1	個人
3	6月21日	鞍掛山 (897.1m)	相ノ沢コース(右回り)	トレーニング	L岡(義)・S太田代・高橋(徳)	3	個人
4	6月23日	三ツ石山・大松倉山	網張奥産道コース	トレーニング (行動食を試す)	L高橋(英)	1	個人
5	6月24日	早池峰	小田越コース	高山植物鑑賞	L吉田(菊)〔会員外〕2名	1	個人
6	6月24日	秋田県境	県境大森TN～南下～柏峠～東山方向往復	岩手/秋田県境を辿る(県境区間7.1km)	L小田(嘉)・S中村(数)・高橋(陽)・小原(耕)・中村(篤)	5	会
7	6月25日	岩手山	柳沢コース	トレーニング	L加藤(桂)・府金(志)	2	個人
8	6月25日	早池峰・中岳・鶏頭山	小田越～早池峰～中岳～鶏頭山～岳	早池峰山から鶏頭山の縦走	L工藤(敬)・S本間(典)・中村(美)・中根・日比野・級木	6	会
9	6月25日	箱が森 (865.5m)	猪去沢口～山頂～マクラ山周回～猪去沢口	トレーニング	L岡(義)・S吉田(成)・石原〔会員外〕1名	3	個人
10	6月25日	八甲田山	田代口～赤倉岳～毛無岱～酸ヶ湯	奥羽ブロック交流山行	L渡邊(健)〔会員外〕34名	1	県連
11	6月26日	男助山	けっぱれランドコース	下見	L川村(雅)	1	個人
12	6月27日	早池峰	小田越コース	トレーニング	L福山〔会員外〕1名	1	個人
13	6月28日	三ツ石山	網張奥産道コース	トレーニング (行動食を試す2)	L高橋(英)	1	個人
14	6月28日	岩手山	柳沢コース	トレーニング	L大峠	1	個人
15	6月29日	六角牛山	峠口～山頂～中沢川口	平日山行を楽しむ	L工藤(敬)・S中村(美)・北田・級木	4	会
16	7月1日	岩手山	柳沢コース	トレーニング	L加藤(桂)	1	個人
17	7月2日	岩手山	柳沢コース	清掃登山	【A班】総括L渡邊・S中村(数)・中村(美)・北田・松田(希)・加藤(桂)・山崎(祐)・渡部(彩) 【B班】L本間(典)・S松田(幸)・吉田(菊)・大峠・吉田(成)・三澤・三戸・杉澤	16	会
18	7月2日	岩手山	御神坂コース	清掃登山	L小田(嘉)・S高橋(陽)・小川(優)・小原(耕)・大倉・舟越	6	会
19	7月2日	姫神山	城内コース	清掃登山	L千田(勝)・S府金(志)・高橋(英)・石澤・三浦(明)・石原・浦部・大森・大木	9	会
20	7月2日	姫神山	一本杉～山頂～こわ坂	清掃登山	L岡(義)	1	会
21	7月6日	早池峰	小田越コース	山野草写真撮影	L川村(雅)	1	個人
22	7月6日	秋田駒ヶ岳	国見温泉コース	トレーニング	L福山	1	個人
23	7月6日	岩手山	柳沢コース	トレーニング	L大峠	1	個人
24	7月8日	秋田駒ヶ岳	国見温泉コース	トレーニング	L久保	1	個人
25	7月8日	岩手山	焼走りコース	トレーニング	L杉澤	1	個人
26	7月8日～7月9日	相ノ沢キャンプ場	キャンプ場内	ツェルトピバーク訓練	松田(希)・府金(志)・高橋(陽)・小田(嘉)・小田(春)・岡(義)・大倉 【スタッフ】野中・中村(数)・松田(幸)・高橋(英)・三浦(明)・小原(耕)	13	会
27	7月8日～7月9日	鳥海山	矢島口康新道コース	東北・奥羽B交流登山	L渡邊(健)・S石澤・遠藤(千)	3	全国連
28	7月9日	男助山	けっぱれランドコース	孫のスキークラブの親子登山	川村(雅) ※引率登山	1	他団体

# 行ってきました!

[6月19日～7月16日現在] その2

No.	月日	山域	ルート	目的	参加者名	会員	分類
29	7月9日	岩手山	柳沢コース	トレーニング	L加藤(桂)・日比野〔会員外〕1名	2	個人
30	7月9日	姫神山	一本杉コース	トレーニング	L石原〔会員外〕1名	1	個人
31	7月11日	岩手山 (2,038.2m)	柳沢コース	トレーニング	L岡(義)	1	個人
32	7月13日	焼山	御所掛温泉～焼山～湯の沢～ペコ谷地～御所掛温泉	平日山行を楽しむ	L工藤(敬)・S級木・中村(美)・北田・吉田(菊)	5	会
33	7月13日	烏帽子岳 (1477.5m)	滝ノ上温泉～烏帽子岳～千沼ヶ原～平ヶ倉口	高校同期と歩く	L本間(典)〔会員外〕1名	1	個人
34	7月13日	七折の滝	岳～七折の滝往復	観察会の下見	L川村(雅)・日比野・三澤	3	個人
35	7月15日	船形山	登山口～三光ノ宮～船形山～色麻コース日沢分岐～登山口	初夏の山を楽しむ	L大峠	1	個人
36	7月15日	岩手山	柳沢コース	トレーニング	L巖地〔会員外〕1名	1	個人
37	7月15日	月山	姥沢コース	クロユリを見に行く	L久保〔会員外〕1名	1	個人
38	7月15日	秋田駒ヶ岳	秋田八合目～男岳～五百羅漢～大焼砂～横岳～阿弥陀池～八合目	トレーニング	L千田(勝)・S高橋(英)	2	個人
39	7月15日	蔵王 屏風岳	刈田峠～屏風岳往復	眺望を楽しむ	L小川(優)〔会員外〕2名	1	個人
40	7月15日	早池峰	小田越コース	早池峰グリーンボランティア活動への協力	L工藤(敬)・S北田・級木・船越	4	会
41	7月15日	岩手山	柳沢コース(八合目まで)	トレーニング	L小田(嘉)・S中村(数)・本間(典)・高橋(陽)・大倉・小田(春)	6	個人
42	7月15日	岩手山	焼走りコース	トレーニング	L杉澤	1	個人
43	7月16日	五葉山	大松コース	コース整備	L松田(幸)・松田(希)〔会員外〕9名 ※釜石労山企画	2	他団体

注：これは、あくまで速報的なものですので、掲載もれや誤り等がある場合はご容赦ください



## 「三ツ石山」から再出発

会員 No. 474 櫻庭 由季子

日程 : 2017年6月18日

天候 : 晴れのち薄曇り

メンバー

A班 一般受講生 6名 スタッフ6名

B班 一般受講生 2名 会員受講生 2名 スタッフ 8名

「三ツ石山」と聞いて真っ先に思い出すのが20年以上前に、山スキーで松川温泉へ滑った時のこと。真っ白な雪原に黒々とした針葉樹、オモチャのおうちのような三ツ石山荘、湯煙の中に湯治客しかいない静かな温泉、といったモノトーンの世界でした。

そんなイメージをもったまま、初級登山教室に参加しました。平日の机上講習は仕事で受けられず、皆さんへのあいさつもそこそこに出発。集合場所の滝沢市役所駐車場から松川温泉へ。渡邊さんの車に乗せてもらい、松田さんからコンパスをお借りし、いただいた地図には西に傾けた真北を示す線がすでに引かれています。何もかも至れり尽くせりで、このあとは何が出てくるのだろうか、と期待がふくらみます。

予備知識ほぼゼロでやってきた登山口は、色とりどりのウエアー、リュックサック姿の大勢の人で賑わっていました。ちょうど「裏岩手連峰開山祭」が開催されており、記念登山をしようという人たちが集まっていたようでした。「山開き」という響きだけでも緑と花の季節の山を連想させ、わくわくします。

最初の急な登りは樹林帯。足元のマイヅルソウやショウジョウバカマに目をやりながら一步一步進みます。BGMはウグイスの声とエゾハルゼミの大合唱。木漏れ日に初夏の暑さを感じ、汗ばんできたころにはカッコウも明るい声で呼びかけてきました。タケノコ採りのお父さん方が鳴らすラジオも大音量でした。

イワカガミやサンカウ、シラネアオイなど次々と花の名を教えていただき、ブナの木も混ざるような樹林を抜けるとさわやかな風。よく晴れた空と広々とした山肌、長々と続く登山道が目に入りました。

「ああ、これが裏岩手か…」と一人納得しました。途中、濡れてツルツルの登山道で足を滑らせ、尻もちをついて自分の体の重さをひしと感じながら、たどり着いた避難小屋。記憶の中の山小屋より大きく立派な建物でした。

山頂までは雪渓あり、ゴロゴロとした岩歩きあり。ゆっくり慎重に登る先には、皆さんの笑顔が待っていました。頂上からは360度の展望。高曇りの空になったものの遠くの山々まで見渡せる眺めで、しばし幸せな気分。人でいっぱい山



頂を後にして小屋まで下ると、先発隊の方々が作ってくださっていたラーメンが用意されており、そのあたたかさにホッとおいしくいただきました。

この時期の三ツ石山へのコースは七変化の山道を楽しめ、まるで遊園地のよう。長年、毎年同じ季節に登っていらっしゃる会員の皆さんと歩くことで、「タケノコを採ってラーメンに入れる」とか「今年は例年より雪渓が残っている」など、山を楽しむ裏技？や経験からくる様々な情報を教えていただき、大変楽しく勉強になりました。

山友会の皆さんと一緒に登っている安心感。おんぶに抱っこで案内していただき、本当にありがとうございました。皆さんのあたたかいお気持ちがあふれる登山教室でした。そして、個人的には山登り中はスマホを見ない、電話に出ない、と決めていました。途中のシラネアオイと山頂での写真撮影以外、スマホを手にとらなかったことで自分の時間を取り戻せたような気がします。

今回の山行で、細く長く、心が豊かになるような山登りを続けていきたいと改めて感じました。

これからも、皆さんにいろいろ教えてもらいながら、一緒に山登りをさせていただきたいと思います。



初めての雪渓歩きも楽しかったようです



三ツ石山山頂手前で整列



楽しいタケノコ入りラーメン作り



A、B班 全員集合



## 会山行 『県境の風』 秋田県県南の古道を行く

4 5 4 小原

6月24・25日、誘われるがままに秋田と岩手の県境を歩いてきました。『県境の風』とは、随分とロマンチックな雰囲気の名前だ。こちらの会山行に出掛けたご経験のある方は、そう思われることは無いと。道無き道を探し出し、藪を掻きわけ、鉋で竹や枝をぶった斬って進む様からは、『県境の酷』のほうが似合っているかと思う次第です。

私もこの山行の1回目、2回目とそんな風にしか思えていませんでした。そんなイメージが変わったのです。いつからかははっきりとしませんが、段々に県境歩きの面白みがわかってきたように思います。

今回の山行では、古道(仙北道/手倉越)を歩き、更にその古道を外れた県境の道無き道を探し出し歩いてきたわけでした。古(いにしえ)の昔の人が歩いたであろう道、

1200年も前に使われていた道を遙か彼方に思いを偲び、竹や雑木を掻きわけて、振り返ればそこにフワーと道が出来たかのような感じでした。トンネル状に伸びた細い道が繋がってるように思えました。その時、スーッと“風”が抜けて行ったように感じられ、“県境の風”を体感したかのように、また昔の人の「道を通ってはるか遠くに出掛けた」思いを体感したような感じでした。



追記：中村（篤）さんは、この山行が一旦終了となってしまいましたが、今回の山行は思い出深いものになっています。今後のご奮闘を期待しています。



## 岩手山 御神坂コース

No. 423 小川優子

日程：2017年7月2日

天候：霧のち雨のち強風

参加者：CL小田嘉洋 SL高橋陽子 小原耕 大倉博 船越茂雄 小川優子

コースタイム：御神坂駐車場 5:30～わらじ 7:05～展望台 7:30～笠締 8:30～わらじ 9:45～御神坂駐車場 11:30

東北も梅雨入り。温暖化が進んでいるためか、春先まで雪が降ったり暑い日があったりと、ことしの梅雨は、長雨か空梅雨か気になるところですが、まずは清掃登山の日は晴れるのか。

7月2日日曜日清掃登山の予定、一週間前から天気が怪しい。晴れが金曜日まで続き、週末怪しくなってきた、月曜日からは大雨の予定。週末の降水確率が日毎にかわる。30パーセント行けるなと思ったら、70パーセント中止かも？今回の気象担当の方々は落ち着かない毎日だろうと心配になるくらいコロコロ変わる。

前日の予報は曇り晴れ、降水確率も低い。絶対晴れだ。「行ける。」と覚悟を決める。

当日、家から第一歩、「え、雨が降っている。」ビックリ、登山口まで霧雨だったけれど小岩井の入り口あたりは強くなってきた。少し不安になる。御神坂の駐車場には他に一台も無し。メンバーが集まるころにはまた霧だけになっていたけれど、また絶対降ってきそうな感じ。

合羽は着ないまま出発。木立のなか。少し歩くとパラパラと降ってきた。葉っぱに守られていたけれど、強くなってきたのでやっぱり合羽を着る。今年は合羽を使う日が多い。

着てしまうと安心だけれど、ムンムンと熱くなってくる。歩いているうち汗をかく。来ていた上着、合羽着る前に脱げば良かったかなあ。とちょっと反省。次回に生かそう。

昨日は山開き、昨日も天気が落ち着かなかったと見えて、急坂のアチコチに滑った跡。泥ですべりやすくなっている。きっとお尻をついたら真っ黒。でも、合羽のせいかな半分だけ安心。汚れても合羽だ。

足元みたら、転ぶ前なのに、膝から下が泥汚れで真っ黒。(帰ってからの汚れ取り大変でした。)

ふと、上から降りてきた方々、山開きに登って小屋に一泊したという。こちらの恰好をみて「それじゃ、寒いよ。山頂はすごい風で行かなかった。ご来光も



見なかったよ。」こちらが登るころには、また変わっているかもしれないけれど、朝はかなり厳しかったよう。

柳沢コースのメンバーに連絡を取ると「日がさしている。」と言う。こっち側は霧のなかで雨も降っているのに。岩手山は大きいなあ。と実感。

登っているうちに雨は弱くなってきたけれど、風が増してきた。

木立の中を抜けて笠締、ここから先はガレ場。ここで強風のため断念して、大きい岩の陰で休憩。向こうの木々を見るとグラングランと揺れている。

安全第一。清掃できなかつたのは残念だけれど、山は逃げない。天気のいい日にまた来ます。そして盛岡はやっぱり晴れていました。





## 清掃登山 岩手山 柳沢コース

会員No.357 渡部 彩子

期 日 平成 29 年 7 月 2 日(日)  
天 候 霧雨と強風 時々晴れ  
参加者 総勢 16 名

【A班】総括CL：渡邊健治・SL：中村数博・中村美栄子・北田絹江・松田希・加藤桂子・山崎祐三・渡部彩子（8名）

【B班】CL：本間典・SL：松田幸久・吉田菊男・大峠茂喜・吉田成子・三澤信裕・柚澤瑠実子・三戸紀子（8名）

コースタイム（A班）

5:30 馬返し駐車場発～6:35 一合目～7:20 三合目～8:15 五合目～9:40 八合目小屋～10:15 不動平小屋（清掃活動・昼食）～11:20 下山開始～11:40 八合目～12:25 五合目～13:15 三合目～14:30 馬返し駐車場着

前日の岩手山山開きの様子は、ニュースで放送されたのを見て、濃い霧と雨で大変そうだなあとと思いつつ、明日の登山の晴天を祈っていました。

久しぶりの清掃登山への参加、そしてしばらくご無沙汰していた岩手山に、少し心配しながらの申し込みでした。私は2007年の7月清掃登山の日に入会したので、ちょうど10年目の記念山行です。ちなみにその時は初めての上坊コースでした。

天気予報では回復傾向の晴れ予想でしたが、実際は小雨のスタートでした。昨日の山開きにも参加した加藤さんから昨日の様子を聞き、昨年創立30周年記念講演をされた阿部陽子さんが描いた、山開き記念の手ぬぐいを見せていただきました。オレンジ色の岩手山が素敵な手ぬぐいでした。

最初の休憩で雨合羽の上を着ながら、下を履くか、履かないかの話となりました。スタートからひどいぬかるみでスリップした跡も多かったため、雨合羽のズボンが万が一転倒した時に、帰りの車中で履くつもり、私はそんな話をしました。

ぬかるみの次は虫が多くて困りました。虫を払っていると足元がおろそかになり、転びそうです。前を歩く中村数博さんは虫よけネットを被っていて快適そうです。私が虫を払うのに苦労していると、「サングラスをかけると目の周りの虫を防げて良いよ。」とのアドバイス。まさしくその通りでそれからは落ち着いて歩くことが出来ました。この虫よけネット、中村数博さんは黒でしたが、本間典さんは白いネットの上半分を黒く染めたものを使っていました。黒いネットでは蜂に追いかける

れるので、白いネットに変更したものの、視界が悪くて部分的に黒く染めたそうです。アイデアが素晴らしいですね。

五合目では懐かしい元会員さんに会いました。昨日の山開きに登って、今日降りてきたとのこと、早朝の山頂は凄い強風だったとの情報をもらいました。

五合目の先ではシラネアオイがまだ咲いていました。雪渓が残っている場所もあり、ひんやりとした冷たい風が吹いていました。樹林帯を抜けると強風で、体感温度も下がり、なかなか雨合羽を脱ぐことができません。



白い部分が髭のようにもみえませんか？

八合目の小屋に到着。前日からの登山者もいるのか大賑わいです。そして強風のためビニールや紙のゴミが舞っているのを拾いました。ここからでもお鉢も山頂も霧の中で見る事が出来ません。御神坂チームとの合流を目指し、9合目の不動平小屋へむかいました。

不動平の小屋に入ると、山頂に行くためにデポされたと思われるザックが数個置いてありました。ここで御神坂チームと連絡がとれ、すでに引き返しているとのことでしたので、今回は強風と霧のため奥宮には行かず、不動平小屋周りの清掃となりました。清掃登山ベテランの皆さんの装備は完璧で、手には熊手やシャベル、割れ物を入れる紙袋を持ち開始です。ベンチ周りやお花畑への登山道まで範囲を広げ、回収されたゴミは7.6キロになりました。清掃後にお昼を食べて下山開始です。

下山途中でお昼のサイレンを聞き、その後消防車か救急車のサイレンが近づいてくるのを聞きながら、前を歩く中村数博さんと「近くですかね。」なんて話をしていたが緊急車両は馬返しの駐車場にきていたそうです。

五合目まで来ると、歩けなくなった登山者のヘリ救助に遭遇しました。ヘリが来る前に早めに降りるようにとの指示で急いで歩きましたが、あっという間にヘリは到着しピックアップ救助を行い素早く去って行きました。

心配していた一合目から先のぬかるみでも、朝より乾いていたせいか転ぶこともなく、無事に下山。雨合羽のズボンは履かずに済みました。

懐かしい思い出を振り返りつつの10年目の清掃登山は、また新しい思い出をつくる山行になりました。

## ツェルト・ビバーク訓練に参加して

No.294 松田希

7月8～9日、ツェルト・ビバーク訓練に参加してきました。1日目は仕事のため夜のビバーク訓練からの参加となりました。

ビバーク訓練なので、普段日帰り登山に持っている装備で一晩過ごすのが本当ですが、万が一寒いときに備えてシュラフカバーを用意して行きました。8日は真夏日で、翌日にかけても雨の心配がないので寒くないだろうと思っていたのですが…。シュラフカバーに入っても寒い!! 寒くて眠れない!! 着替え用に持って来ていたTシャツとジャージと靴下を重ね着して、さらにフリースを着て首にターバンを巻きポケットに手を入れて、シュラフカバーの中で丸まって過ごしました。暖かいものを飲みたいと思ったのですが、テルモスのお湯は夕食に使ってしまい空っぽ。何か食べたら暖かくなるかと思いましたが、こういう時に限っておやつも無し。となりのツェルトの人もモゾモゾしているので、きっと寒くて眠れないんだろうな～、と思いながら眠れたのは2時頃でしょうか。2年前、有志で9月に同じ相の沢キャンプ場でビバークした時は、万が一に備えて用意してあったシュラフに夜中に潜り込んだので、今回ほど寒さは感じませんでした。これが山の上だったら…、秋や冬だったら…、雨が降っていたら…。絶対にビバークしたくない!! でも、想定外の出来事はいつ起こるか分かりません。翌日、シュラフ無しで寒い一夜を過ごした4人は、装備や衣類の見直し、お湯の大切さ、レスキューシートの活用などについて話をしました。来年もきっと遭対部はビバーク訓練を予定してくれると思います。皆さん、ぜひツェルトで一夜を過ごしてみてください。もちろんシュラフ無しですよ～。いろいろ考えさせられます。

2日目は、皆で輪になって救急パックの中身を広げて、中に入っているものの使い方の確認と医薬品や体のトラブルについての情報交換。足首の捻挫、ひざのトラブル予防のテーピングと捻挫時の靴の上からのサムスプリントの固定法。ストックで松葉杖を作る。ヒューマンチェーン、ツェルトとストックでの簡易担架、ザックを使用しての搬送。盛りだくさんでした。ちなみに1日目は14時からロープワークとツェルトの張り方を行ったそうです。遭対部の皆さんは1日目の8時から打ち合わせを兼ねての勉強会をしていたので丸1日以上相の沢キャンプ場でがんばっていました。暑い中お疲れ様でした。

皆で勉強することの楽しさを感じた2日間でした。

参加した皆さん、ありがとうございました。



## “&lt;結果から探ろう&gt;”

山に登る人には、無事下山してね、という。どのようにして登るか、グループか単独かよりも、まずは事故なく戻るという結果が重要なのだ。もし事故れば、どのような登山だったかという方法（手段）が問題になる。起ってしまったこと（結果）の原因（手段）をちゃんと調べて、二度めの事故を防ぐのだから。

ところが、何が何してなんとやら、がぐじゃぐじゃになるのが現実だ。どうしてそういうことになったんだ、と真相が知りたい。真相が知られて困る場合、言っていない、記憶がない、記録や書類はない、のらない尽くしとなる。事実があいまいなのだから、ほんとうのことが分からない。あうだ、こうだとなってけりがつかない。

知られて困ることは隠す。これは人の本能だ。そこで隠す藪が必要になる。記録がないなどにして、すべては藪の中にしようとする。としても、やはり何かが出てくる。雉（きじ）は藪に逃げ込むがその長い尾は藪の外。頭隠して尻隠さずということになる。今年もマスコミで騒がれている小学校や獣医学部の工事現場という尻尾は隠しようがない。その先は頭の黒い鼠だなど誰でもわかる。だが、だがどうしてそういうことになったのかの途中経過が分からないというより、隠されている。事実という証拠がない。証拠がないなら真相は分からない。うわさだけで終わりとなるのだろうか。

真相が隠されて、問題となっても、どうでもよいものから重大なものまである。個人的なうわさは蜜の味だから、絶えることがない。でも、すぐに消えて気晴らしの種で終わる。しかし、公の出来事となると実害が生まれる。それも権力者が関わってくると単なるうわさとして楽しんでいられなくなる。その尻尾の先が国家や国家機関というような権力機構が現れたときだ。「何故ならそれは非常に危険だからだ。」\*

国家機関とはいえ、民主国という建前の日本だから、いまのところもみ消そうにも、いちど出た尻尾は消えない。そこで用いられるのが<だまし>の技術だ。まず、その尻尾を認めるといふ公正な態度に出る。次にその正体なるものは決して危険な、悪いものではない。社会や国家にとって必要なものだったのだと発表する。さらに追及されると、必要悪なのだから仕方がないとなる。素直な国民は、それじゃ仕方ないかと矛を収めてしまう。

獣医学部の問題でも、文科省という頭の固い岩盤に風穴を開けるための指示だったのだ、これによってもっと自由な良い大学が日本に生まれるという説明に変わった。もちろん首相自身の指示とか書類や録音はもともと記録されないように仕組まれている。誰かに付度（そんたく）という便利な道具を使わせればよい。付度らしき指示の記録さえないといって隠そうとしたが、表に現れたってしまった。そこで開かれた教育のためにやむを得ない指示だった。手段はちょっと強引だったが、未来の日本のための必要悪なのだと居直った。一部の人の欲望を満たすことによって、国家財産の無駄使いというのがうわさの真相だ。やり方が汚ければ、そこから生まれた結果にろくなものはないのは当然だ。欲望が生み出した手段だから、欲にまみれた姿が現れただけだ。

間違った手段を使えば、人類の破滅をもたらす例もある。こちらのほうがもっと恐ろしい。お金の問題でなく命の問題なのだから。例えばヒロシマの原爆投下だ。原爆によって10万人以上の広島市民などが死亡した。事前の実験によって、アメリカは原子爆弾という手段を使えば、市民の大量死という結果が分かっていた。この投下命令を出したのは悪魔



なのか？いや、自由主義国家といわれるアメリカ（大統領）なのだ。われわれ日本人には「原爆許すまじ」という常識がある。ではアメリカでの常識とは？

アメリカ人が作成した原爆投下記録映画『ヒロシマ』がアメリカ国内の各地の高校で上映された。アメリカの若者に＜原爆の恐ろしさ＞を伝えようとした・・・と日本人の私はそう思ってしまった。高校生だったノーム・チョムスキー（言語学者）はこの映画を見てショックを受けた。そのショックとは大量の死者とか、皮膚がぼろきれにようの垂れ下がった負傷者の姿だったのだろうか。彼が、ショックを受けたのは同国人の反応だった。

「被爆者たちが沸騰した川に飛び込む映像を見ながら、アメリカ人の観客は大笑いをしていたのです」\*

チョムスキーのような良心を持つ人がいて少し救われる。が、たとえ敵国だったとしても、アメリカ人が「大笑い」する場面こそショックだ。なぜ笑うことなどできるのだろうか。



原爆投下機とその搭乗員

1980年に公開された『エノラ・ゲイ』（原爆を投下した飛行機名）という映画もある。アメリカ人が見る映画だから、アメリカ人は映画の内容に影響される。大量殺人という悪魔の手段だったはずの原爆投下が、平和をもたらした神の手にすり替えられていたのだ。

映画（『エノラ・ゲイ』というタイトル）の最後には軍人たちの愛国心あふれる熱いメッセージが流れてくる。「連合国にとって、あの原爆は救いだった。大切なのは原爆がもたらしてくれたこの平和をいかにこれから維持していくかなのだ・・・」\*

原爆投下によって、終戦となり、平和がもたらされた。その上、原爆投下によって米兵の死者が出なくなったのだから、これほどいい手段がない。せいぜい原爆は必要悪となってアメリカ人の心に入ってしまった。だが、ちょっと待て。日本人なら、いや被爆者ならなお一層、あの場面を笑うことなどできるか、必要悪でしようがないと許せるだろうか。原爆の目的、それは、第一の手段としての大量殺人であり、その結果は一瞬にしての10万人以上の死傷者なのだ。これこそ（原因となる）手段（原爆投下）と結果（10万以上の死者負傷者）という因果関係なのだ。終戦となり、平和が生まれるのは原爆とは無関係の政治交渉の結果なのだ。もっとも交渉への効果的な第二の手段であったことも確かだが。

だから、大量殺人という手段が平和という結果をもたらした、などはまったくのばかげた話なのだ。ユダヤ人絶滅のナチの政策に賛成するようなものだ。アメリカ政府による目的と結果に対する見事なすり替えがあったからこそ、真相ばかされてしまった。権力機構



\*ピカドン（木下蓮三）

という巨大な煙幕には注意しなければならない。こういうときは、何が何してなんとやらという全体像を見るのだそう。隠れているとか隠されている部分とかがあっても、「手段ではなく結果を見ればいい」（ノーム・チョムスキー）\*のだ。手段としての原爆ではなく、大量殺人という結果から原爆投下を見れば、真相が浮かぶ。原爆は必要悪どころか絶対悪の姿を現すだろう。

もうすぐ、またあのピカドンの八月がやってくる。

\*印は 堤美果『もう一つの核なき世界』小学館文庫 より

\*ピカドン：木下蓮三・木下小夜子が1978年に制作した短編アニメーション より

## 交流の広場

### <先日行われたビバーク訓練の感想>

個人装備としてツェルト（緊急時のテント）をほとんどの方はお持ちになっていると思います。

しかし、実際に泊りに使用した人は少ないように思います、泊以外にもシートや寒いとき体を包んだりなど使用できるのでやはり必需装備です。

今回は泊りに使用する場合のことを述べさせてください。

泊の山行で活用するのには小さく軽量ですからとても便利です。

持っていてはまだ泊りでは使用したことが無い人が多いように感じています、いざというときのために自分のツェルトの特性をまず把握することが大事です。

今回の訓練では小さすぎて、使いづらく、会のテントに避難する方もいました。

泊りでは使えないものもありました。自分に合ったものを用意する必要があります。

ツェルトにはいろいろな種類がありますが、単に一人用を購入しますとサイズは長く体を横にすることができますが、狭いのでザック等は入らない、長さが短く体を横にすることが出来ないもの、単に雨宿りをするもので泊には使えないものなどがあります。

泊に使用するのであれば、ツェルト

内にゆとりがあり、ザックも収まる2～3人用の物が良いと思います。

ツェルトさえあればあとは細引で張れる、足りないものは山で調達すればいいという方もありますが、山には何でもそろっているわけではありません、ないときのことを考え最小限の張用のロープや止め用ペグは軽量の物が出まわっているのと安心です、ツェルト内の空間を広げるには、軽量のセンターポールを付けると快適になります。

これから用意する方は以上のことを考慮すればいいでしょう

テントやツェルトは使用後速やかに乾燥することが、生地劣化を防ぐそうです、管理さえ良ければ20年以上も使用している人がいるそうです。

最近はドームタイプ（自立型）で軽量化されたものが発売されています、山行がますます快適になっていきそうです。（A 三浦）

## 会報部員のひとこと

今年は秋田駒ヶ岳のムーミン谷にチングルマを見に行きたいと思っていました。

自分の休みと天気、そして、花の開花が合うとは限りません。しかし、今年はバッチリと合い、素晴らしい景色を堪能することができました。

しかし、国見の駐車場は車が凄かったです。焼石岳も花の時は物凄い混雑とか。。。この登山ブーム、駐車場も気にしないといけませんね。（No.301 久保）



— 種差海岸 —

夏と言えば、海。ここ数年山からすっかり遠のいてしまい、出張の合間に目にした光景を描きました。日差しは強くても海風は涼しく、夏の日之光に海辺の松はくっきりとした影を落とし、はまなすの鮮やかなピンクの花が咲き乱れていました。岩手は内陸の山々が有名だけれど、三陸沿岸にもたくさん山があります。特に霞露ヶ岳はいつか行ってみたい山です。北三陸から南三陸まで、スケールが大きくて奥深く圧倒されるような自然の造形と、内陸では見られない海岸特有の花々。いつかゆっくり岩手の沿岸の山々を堪能したいと思います。

No.161 田中弘美

あかげら 第344号

2017年7月26日

発行者 盛岡山友会 会長 渡邊健治

編集責任者 盛岡山友会 会報部長 辰巳和司

印刷／製本 (有)小松茂印刷所

盛岡市大沢川原2-5-37

019-623-6073

■盛岡山友会のホームページ■

[http://www.geocities.jp/morioka\\_sanyukai/](http://www.geocities.jp/morioka_sanyukai/)

～里山からヒマラヤまで安く、楽しく、安全に！～